

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 19 日

事業所名 障害児通所支援 ちゃーむ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100			フラットな作りで、安全に過ごせるように配慮しています。	
	2 職員の配置数は適切である			100		よりきめ細やかな支援につながるよう職員の増員をしていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100			段差のある所にはスロープを設置しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100				より広い視野を持ち業務改善に努めていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100			職員全体で把握し、その都度改善に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100			事業所内での公開の他、ホームページでも公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			100		現在行っていません。今後、外部評価実施を考えております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100			個々の研修参加の他、伝達研修や勉強会を設けています。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100			ニーズに応じた支援計画作成に努めています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100			職員全体で把握しやすくなっています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100			会議の場を設け、プログラムの立案を進めています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100				感染症対策を踏まえながら、固定化しないよう行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			100		感染症対策のため、活動に制限が出てしまったが、今後状況を見ながら課題設定をして行きたいと思えます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100			無理なく、行える活動を取り入れています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100			口頭の他、表記されている物を見ながら確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100			気付きが共有できる環境づくりを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100			必要な内容を記録するよう、心がけています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100			職員全体で判断しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている			100		感染症の状況を見ながら、地域交流の機会を設けていきたいと思えます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100			参画の際には、他職員からの話も取り入れ、多くの情報伝達ができるよう努めています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100				トラブル発生に気を付けながら、適切な情報共有、連絡調整に努めていきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100				事業所等を通し、情報の共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		100				提供依頼の際は、提供できる体制を整えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100				必要な機関との連携を行っていますが、より多くの助言、研修が受けられる機会を設けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			100			感染症対策もあり、交流の場を設けることが難しかったが、状況を見ながら検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			100			感染症対策もあり、積極的な参加は難しかったが、今後、状況に応じて参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100				送迎時や連絡帳等を通して伝える機会を設けています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			100			ご家族の方々からいただいたお話には、助言等対応に努めてまいりましたが、ペアレントトレーニングについては、今後検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100				変更があった際には、その都度、説明の機会を設けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100					必要な時に相談できるよう、開かれた事業所づくりを心がけていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			100			父母の会は立ち上げておりません。感染症対策で親子参加の行事が設けられませんでした。今後状況を見ながら対応していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100				情報の提供等含め迅速な対応を心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100				分かりやすい発信を心がけています。	
	35	個人情報に十分注意している	100				事前の確認の他、写真掲載についてはその都度確認を行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100				その都度、必要なツールを使用し、情報の伝達に努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100			感染症対策のため、積極的な活動ができませんでした。状況を見ながら行っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100				保護者の皆様へ周知の工夫をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100			月ごとに想定を変えながら、訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100			デジタル配信等での講義を受け、虐待防止についての理解を深めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100				身体拘束等が必要になった際には、十分な説明と支援計画掲載を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100				アレルギーについては確認を行っています。必要に応じ対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100			毎月会議を設け、安全確保の共通理解に努めています。	